



# Shinro

2026.7.14

～広げよう、そこには多くの選択肢が。

向き合おう、自分で決める1つに価値がある。～

学校祭が終わりました。みなさんの創り上げた学校祭は、本当に素晴らしかったです。準備を進める中で、様々な課題に直面したかと思いますが、向き合い仲間と協力して形にした結果です。その課題解決能力、協働力は今後の高校生活や進路活動にも生きてきます。3年次を筆頭に、大いに期待しています。

「広げよう、そこには多くの選択肢が。向き合おう、自分で決める1つに価値がある。」多くの選択肢から、自分自身で価値ある進路選択ができるように、清田高校はみなさんに並走します。

## ◎「祭りのあと」をどう生きるか——君たちの本当の強さが試される時

さて、改めて素晴らしい学校祭でした。その祭りが終わった今、私たちがすべきことは何か。自身の進路から目を背けず、向き合うことです。みんなの人間としての強さが試されています。余韻に浸ることと、現実から目を背けることは別です。清田高校全体で“きりかえ”を行いましょう。

### 【最高の思い出を、「いいわけ」にしない】

学校祭という最高の思い出は、今後もかけがえのない崇高なものとして自分たちの中に、大事にしまっておいてください。間違っても、自身が行動できない「いいわけ」に使うことがないように。

行事が終わった今、いちばん危険なのは「燃え尽き症候群（バーンアウト）」です。

- ・ 「学校祭で忙しかったから、今週は勉強しなくていいや」
- ・ 「まだ余韻に浸っていたいから、来週から本気出す」

こんな風に、最高の思い出を「勉強しない、いいわけ」にしているませんか？ 厳しいことを言うようですが、君たちが祭りで盛り上がっている間も、全国のライバルたちの中には淡々と机に向かい、ペンを動かし続けている人もいます。同じ清田高校の仲間の中にも、すでにきりかえて行動している人もいます。これが現実です。

### 【「きりかえ」ができる人は、強い】

受験や進路実現において、最後に結果を出す人に共通する決定的なスキル。それは「切り替えの早さ」です。全力で遊んだり行事を楽しんだりした後に、ずっと日常の学習モードに戻れるかどうか。これが、これからの数ヶ月で驚くほどの差になって現れます。また、「模試で思ったような点数が取れない」、「推薦入試が不合格だった」など……。思い通りにいかないこともあります。楽観的な考え方は少し困りますが、次の機会に向けてきりかえることができる人が強いです。

学校祭で発揮したあの「集中力」「団結力」「あきらめない心」は、そのまま受験勉強にスライドさせることができます。エネルギーの矛先を、今日から「自分の未来」へと切り替えましょう。

**これからは、日々の授業に加えて、進学相談会・講習・模試と進路行事も盛り沢山です。  
チャンスは、みんなに平等に与えられています。自分で掴みにいかないと、ピンチです。**